

【令和3年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の好きな児童が多く、楽しく音楽活動ができている。 ・特に器楽演奏の好きな児童が多く、楽器の練習に意欲的に取り組んでいるが、技能や集中力に個人差が見られる。 ・歌唱面では、歌うことが好きな児童が多いが、意欲、技能に個人差がある。また、新型コロナウイルス感染症予防で、歌唱活動が制限されていたことが技能面にも影響している。 ・五線譜に苦手意識を感じている児童が多数見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカやリコーダーのタンギングを全員が習得し美しい音色が出せるような指導を工夫することが課題である。 ・歌唱では話す声と歌の発声を区別したり、合唱活動を通してきれいな響きを感じ取ったりすることができるようにするための指導法を工夫することが課題である。 ・情報化が進み、児童の生活の中で音楽を耳にすることは多くなってきているが、生の演奏を直接聴いたり、自分が演奏者側になったりという経験が少ない。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>◇<u>技能の向上をはかるために</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低中学年を中心にリズム活動や音楽づくりに取り組み、身体全体で音楽を感じたり、表現したりする楽しさを味わわせていく。 ・全学年で鍵盤ハーモニカ、中高学年でリコーダーの練習時間を設定し、個別指導を行い助言する。できたところを発表し、互いに聴き合い、よいところ、きれいな音色に気付かせる。 ・毎時間発声、呼吸、発音といった技能の基礎を押さえ、きれいな響きを理解して歌えるようにする。さらに高学年では合唱活動を通して、ハーモニカの美しさを感じて合わせる楽しさを味わい、進んで合唱活動ができるようにする。 ・ICT機器を活用し、視覚的な面で学習をサポートする。 ・めあてを明示し、何のための学習かを具体的につかませるようにする。 <p>◇<u>経験を増やし、楽しい音楽活動にするために</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽朝会や各学期末などに意識的に発表の機会を設ける。 ・ペア練習、グループ活動を取り入れ、互いに協力して学び合う場の設定をする。 ・年間を通して様々なジャンルの演奏家を本校に招き、プロの生演奏を鑑賞したり、歌や楽器で演奏に参加したり、演奏家から直に楽器演奏の手ほどきを受けたりするなど多様な音楽体験をする。